

富田林市総合計画基本計画検証会議 会議録（発言要旨）

- ◆日 時：平成24年3月7日（13：30～17：00）
- ◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室
- ◆参加者：委 員…大川・小堀・前川・両角・吉川（座長）委員
事務局…村本課長、大原主幹、仲谷

発言者	発言概要
事務局	<p>●全委員の出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>●前回会議の議事録の確認。 ⇒一部を修正することで確定。</p> <p>●会議録の公開に当たっての確認。</p>
事務局	<p>どの発言とどの発言が同一人物なのかが分かるよう、発言者欄を単に「委員」とするのではなく、「委員A、B」というようにした方が読み易くなると考えるが如何か？</p>
座長	<p>庁内のルールとしてそういう風になっているのか？</p>
事務局	<p>決まり事があるわけではない。</p>
委員	<p>会議の内容によっては、個人が特定されると圧力が掛かる場合がある心配がある。これまでのところ、そのような内容はないと思う。</p>
委員	<p>フォローアップ会議では「委員」となっており、中間の検証会議から変えるというのは中途半端ではないか。第1回で「委員」とするよう決めたのだから、「委員」とすべき。また、そういうことは募集要項で明記しておくべきではないか。</p> <p>⇒「委員」で統一することで合意。</p> <p>●傍聴人の入場 ⇒1名入場。</p>
座長	<p>●報告書について</p> <p>検証会議のまとめ（報告）については、前回会議冒頭にメモとして提示した。そして、議論を基に大項目（目次）を作成し、事務局に送付した。そこに事務局が文章を入れたものが今回の配布資料となっている。提言のたたき台として修正すべき点は多々あると考えているが、今後の方針として、項目立ての議論をしていただいて、文章表現については任せて欲しい。もちろん、それをフィードバックして各委員の意見を反映させるように進めていくが如何か？</p> <p>⇒各委員了承。</p>

	<p>検証会議としてのそもそものタスクは時代潮流の変化から総合計画を見直すことであった。しかし、会議が進むにつれて4次総計の進捗評価や、次期総計に盛り込んでおくべきこと、さらにはフォローアップ会議の今後の役割についても議論されたところであり、そういったことも報告書に書き込んでおく必要があると考えている。加えて、これらを受けて検証会議の位置付けを明示することも必要かと考えている。</p>
委員	<p>(報告書に盛り込む事項への提案として、) 住みやすいまちづくり＝新規事業と考えている。現在の実施計画には経常経費と新規事業が混在しており、ぼやけてしまっている。</p> <p>先日、富田林市の財政状況について講演があったため参加した時に、経常収支比率が90%を超えていることを知り、市として目玉事業を打ち出すことの必要性を感じた。</p>
座長	<p>進捗状況や実施計画のローリングの評価をするためには、結局そういうこと(目玉事業を打ち出すこと)も必要なのかもしれない。</p> <p>報告書への書き込み方としては、「経常事業と目玉事業を分けておくことでフォローアップ会議での進捗管理がし易くなり、引いては「住みよい富田林」の実現に繋がる」というような形になるうか。</p>
委員	<p>まとめ方については、これまで議論した全ての事項について、個々具体的に書いてしまうのではなく、「市民が求めていること、行政から市民にお願いすること」など目的なもののある程度絞り、それに向けた「フォローアップの役割、5次総計に盛り込むこと」という構成が良いのではないかと考える。</p>
座長	<p>そういう意味では「実施計画のローリング」については、ひとつ目玉になりうる。</p>
委員	<p>当該項目については、総合計画を予算とセットで議論してこなかった反省を踏まえる必要がある。</p> <p>「みんなでつくろう、育もう 魅力あるまち富田林」実現のため、目玉事業を作ることは必要かもしれないが、コストパフォーマンスなど他市の事例の実証研究を行うなど、これまでフォローアップ会議において提案してきた資料を基に、計画と予算の両輪の議論をしていくべき旨を書き込むと良いのではないか。</p>
委員	<p>市民としても行政の「予算」については未知の領域であり、学ぶ必要がある。また、4次総計の骨子としている「市民参加・市民協働」についてもフォローアップ会議でさらに評価しなければならないのではないか。</p>
委員	<p>個人的な考えでいえば、市民協働、市民参加よりは施策の方が大事。究極のところ、行政が市民目線を持っていれば、そもそも市民参加は必要ない。</p>
座長	<p>施策の大事さは各委員とも認識しているが、市民参加は4次総計の目玉であり、重点課題として議論してきた。無論、施策も忘れてはいるわけではない。より明確に</p>

	<p>しようと思えば、5次総計では施策を動かすしくみについて書き込んでもいいかもしれない。</p>
委員	<p>P⇒D⇒C⇒A サイクルも大事だが、人間はそもそもそれを意識して仕事をしている。それよりも大事なものは、住みよい富田林にするというはっきりとした目標を意識した施策を考え、実行すること。</p>
委員	<p>自分なりに解釈すると、「P⇒D⇒C⇒A サイクル」の円滑化＝「積極的な情報公開」。事業実施のルールとして、その過程を公開しておくこと。</p>
委員	<p>基本計画についてはしっかりとしたつくりになっているが、それに対応する実施計画については市民の目が入っていない。個人的には、基本計画よりも実施計画が大事だと考えており、策定段階の実施計画を市民が見ることのできる場を設けることも大事。そういう過程を経て策定された実施計画を、フォローアップ会議が評価し、その評価がどう反映されたか（C⇒A）を見ていくべきである。</p>
座長	<p>裁判官でもなく、外部監査員でもないフォローアップ委員として、これまで職員自らが自己点検して、次に反映できるしくみづくり（C⇒A）を行ってきたつもり。</p>
委員	<p>国連の場合は勧告までと聞いている。時間的なこともあり、フォローアップ会議でも同様の手法ではないか。最終的に実施するのは担当課である。</p>
座長	<p>フォローアップ会議も自己点検が必要。結局数値に目が行ってしまっていたところがあり、目的が意識されているかどうかという見方はしていなかったところがある。</p>
委員	<p>自分としても、数値の反映のさせ方のアドバイスを行う自己点検のスタンスにおいて、C⇒Aの円滑化を図るべきであると考えている。</p> <p>ただ、数値は作れるものであり、それだけを追いかけるのは危険。</p>
事務局	<p>「あれもこれも」が出来ていた時代とは違い、今は何かをビルド（作ろう）しようと思えば、別の何かをスクラップするという選択が必要。その選択を市だけで行うことは難しい。事業評価も踏まえた形で、市民・議会を含めた市全体としていかに合意形成していくためのツールとして「横糸」が必要なのではないかと考えている。</p>
委員	<p>スクラップすることは必要だが、それをし易いところだけでなく、聖域の中に踏み込むことが必要。そういう方向性で歳出削減していかないと市民も納得しない。また、削ることだけでなく、元気なお年寄りには引き続き仕事をしてもらって、税収を得るなど「産み出す努力」も必要。</p>
座長	<p>そういう意味では経常事業も例外ではない。涙を吞んで切るべきところがあるのかもしれない。</p>

委員	橋下大阪市長は府知事時代に大胆な経費削減を行い、市長になった今も進めているが、ちゃんと説明すれば市民は納得する。切るところは切って分かち合うことが市民参加である。
委員	行政と市民の情報共有について提言し、円滑な情報理解を進めるなど市民の力量を高めておかななくては無責任に言いっ放しになってしまう。 また、防災に関しては、老人や女性も元気であれば参加する責任があることについて言及しなくてはならず、いざ災害が起きた時に若者だけでは人手が足りない。
委員	あるミニコミ紙に、市民も変わらなくてはならないと書いてあったが、多くの市民はなぜ参加しなくてはならないのかと疑問に感じている。その意識を変えることが必要。
委員	しんどさは言われないと分からない部分がある。時代背景や財政状況の厳しさなど、実情を率直に説明されれば市民も理解できる。
委員	税金を払っているのだから、行政がしっかりやれというのが今までの考え方。これからはそうでなくて、市民が自分でも考えて表明していくことが必要。そういう風に考え方を変えるのには時間が掛かると思うが、10年、20年掛けてもやっていく必要がある。
座長	4次総計でも、市民もしっかりしなくてはならないという表現はされているものの、遠慮した書き方になってしまっている。
委員	懇談会に若い市民が入っていたならば、表現も違っていただかもしれない。若い参加者を増やすには、会議の開催時間を休日にするなど必要。また、市民の側にも事務局の仕事をフォローするという意識が必要。
～ 休憩 ～	
座長	提言の一つである5次総計への準備について言えば、検証会議自体もこのやり方で良かったのかも含めて、P⇒D⇒C⇒Aサイクルが必要。それをやっておかななくては、5次総計においても、どう“見直し”を行うかに迷う。
委員	総合計画は表現が漠然としていて、予算の裏付けもない。もっと具体的目標を定めて、そのためにどのような施策が必要といった構成が良い。また、実施計画を見ていると、あまり総合計画とのリンクが見えない。
委員	総合計画と予算とのリンクについては、民間企業と違い難しい面があるとは思いますが、目標を立てる上では一体のものではないか。
委員	都道府県が作っている総合計画は予算とセットになっていると聞いている。4次

	<p>総計策定時も視点としては持っていたが、時間的な限界もあった。5次総計においては、変えていかなくてはならないと考えている。</p>
座長	<p>第5次総計をそのようにしようと思えば、この検証会議で提言しておく必要があるし、その実現に向けたフォローアップ会議への提言も必要。</p>
委員	<p>(提言の提案として)5次総計では目標設定をすることが必要であると考えているが、その場合少なくとも目玉事業については、目標の実現に向けた道筋までを含めて市民参加による議論をしてほしい。</p>
委員	<p>議論する上では、構成がやはり大事。年齢や性別をバランスよく配すれば、相乗効果も生まれる。これからを担う若い人の意見をもっと引き出すべき。</p>
委員	<p>総合計画も常に移りゆく時代変化の中で、細やかな見直しが必要かもしれないが、企業のように株価や売り上げなど見易い指標がない市政に関しては難しい。</p>
座長	<p>これまでの議論を踏まえた5次総計に向かわせるには、どう下準備するのかを考える必要があるが、その提言を行う上で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画には予算の裏付けがあるべき ・計画目標の実現に向けた方針にまで触れるべき <p>という点については、検証会議としての合意事項として良いか。</p>
委員	<p>会議の意見をまとめるとそうなる。また、大まかなコストを書き込むことも必要だと思うし、それに対して実施計画をどうしていくのかといった話の道筋が見える。</p>
委員	<p>加えて言えば、以前の会議であったリーダーシップについては、総合計画を進めていくという点で、政策推進課がリーダーであるべきと書けば良い。</p>
委員	<p>市民参加を進めるにはやはり情報公開である。なかでも、もっと悪い情報を流すべきで、そうでなければ自分の市が置かれている状況が理解できない。</p>
委員	<p>情報公開はされていると思うが、受け手にも問題がある。もっと、自治組織が活発に活動し、そういった情報を分かりやすく説明していくことが必要。</p>
委員	<p>最近で言えば、町総代会主催による市の財政の勉強会が行われたが、その状況を見ると関心を持っている市民も多い。このような場がもっとあれば良い。</p>
委員	<p>町総代会の場で財政状況についての説明は都度あるのだろうか？</p>
事務局	<p>要請があれば行うといったところ。</p>
委員	<p>町総代の本来の役割としては、市の方針や考えを市民に分かりやすく伝えることなのではないか。</p>

委員	<p>そういうしくみとしては存在してきたが、うまく使われて来なかった。総合計画も、本そのものも各町総代は持っていないのではないかと？市民の総合計画の認知度はかなり低いと思う。</p>
事務局	<p>概要版の市内全戸配布は行ったが、製本版を町会に配ったことはない。市としての考えをもっと市民に理解してもらうために、町総代への説明会のようなものも必要かもしれない。</p>
座長	<p>考えとして、町総代が市民に伝えることの必要性は理解できるが、同時にその実現に向けたステップを考えなくては「べき論」に収まってしまう。</p>
委員	<p>市議会においては総合計画の検証などは行われているのか？</p>
事務局	<p>組織として行われてはいないと思うが、個々での確認はされているのではないかと。</p>
座長	<p>総合計画での踏み込み方については、市長の権限とのバランスが難しい。あまり踏み込みすぎた計画になると、市長の立ち回る余地がない。</p>
事務局	<p>先日、基本構想の議決義務について話があったが、総合計画を作らなくていいということではなく、作る、作らない、計画期間も含めて地方自治体で自由に考えることができるようになったというのが解釈。</p>
座長	<p>市の将来を考える上で、計画をなしに考えるというのはいり得ないので、作るとい判断にはなろうかと思う。</p>
委員	<p>実際に予算を審議する市議会議員がもっと計画策定に携わっておかなくては、施策における裏付けには繋がって来ないのではないかと。</p>
座長	<p>総合計画と実施計画をリンクさせようと思っても、総合計画にはそこまで細かい区分をしては書き込めない。優先順位が見えるようにはできるかもしれないが、金額を書き込むことには無理がある。</p>
事務局	<p>時代の変化に応じてニーズは変化するし、それに伴って優先順位も変化する。方向性である基本計画を事業レベルや予算枠においてあまり固めてしまうと、柔軟な対応が出来なくなるのではないかと。</p>
座長	<p>総合計画そのものに金額を載せて予算の裏付けにするとということではない。ただ基本構想と具体の実施計画に間がありすぎるところがあり、基本計画において優先順位を謳^{うた}っても良いのではないかと考えている。</p>
委員	<p>施策の優先順位・予算を考える際、90%を超えている経常経費については、その低下に向けて別の計画を考えるべきではないかと。</p>

事務局

それは必要であると考えている。

座長

それでは、以上の議論を踏まえ、報告書をまとめたいと思う。宜しければ報告書の案を作りたい。それをフィードバック⇒修正し、28日の最終報告としたいと思う。
⇒各委員了承。

~~ 終了 ~~